草枕（くさまくら）

夏目漱石（なつめそうせき）

山路（やまみち）を登（のぼ）りながら、こう考（かんが）えた。

智（ち）に働（はたら）けば角（かど）が立（た）つ。情（じょう）に棹（さお）させば流（なが）される。意地（いじ）を通（とお）せば窮屈（きゅうくつ）だ。とかくに人（ひと）の世（よ）は住（す）みにくい。

●書ける字はなぞりましょう。声に出して読みましょう。